

ミナミメダカの移植を行いました。

仙台土木事務所管内：朴島（塩竈市）

移植作業

平成29年9月15日（金）に重要種であるミナミメダカの移植作業を朴島（塩竈市）で行いました。宮城県環境アドバイザー（高取先生：魚類）からの助言により、工事範囲内に生息しているミナミメダカを保全することを目的とし実施しました。移植作業は魚体を痛めないように約500個体採捕し、工事範囲外の湿地帯へ放流しました。



ミナミメダカ（準絶滅危惧種）

ミナミメダカ

（宮城県RDB：準絶滅危惧種）

平野部の河川、湖沼、運河等に生息し、島嶼の塩性湿地でも見られる。東北太平洋沖地震で大規模に被災したが、地域の復旧に伴い復活した生息地がある。



ミナミメダカ採捕の様子



採捕したミナミメダカ



ミナミメダカ放流の様子



※アドバイザーより、いただいた意見（指導・助言）を踏まえ引き続き環境に配慮した施工を実施していきます。